



## 体に優しい 胸腔鏡手術

### ●より低侵襲な治療を求めて

当院では従来、通常開胸手術でも大きな筋肉を切らずに温存する垂直（前方）腋窩切開法で体に優しい手術を行ってきました（図左）。近年はさらに体への優しさを求め、胸腔鏡手術（VATS、バツ）を積極的に実施しています。

### ●VATSとは

複数の穴から胸腔鏡と手術器具を入れて、モニター画像を見ながら行う手術です（図右）。肺がんでは7~8割程度の症例にVATSを実施しています。（リンパ節転移陽性、大きな腫瘍などの場合は、通常開胸で行っています）

### ●VATSの長所

- (1) 整容的に優れる
- (2) 通常開胸より痛みが少ない(個人差あり)
- (3) 拡大視が可能
- (4) 複数医師が同時にモニターを見られるため、リアルタイムでの情報共有が可能



胸腔鏡手術（VATS、バツ）の様子 ▶

### ●当院肺がん手術における胸腔鏡下手術件数の推移 ※（）は単孔式胸腔鏡手術

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
肺がん	17	39	60	65	63	70	87	105
↳内 胸腔鏡下手術	3	12	28	44	27	38	44 (4)	73 (2)

がんでは、精密な手術（precision surgery）が要求されます。我々はこの精密さを満たしつつ、より体に優しいVATSを積極的に行っています。

